

2025/06/13

いつもお世話になっております。
先週の日曜日、私、誕生日を迎えまして、また一つ歳を取ることができました。
日々、皆様からお力添えをいただいていることもございまして、私自身、毎週各校舎でのレッスンがとても楽しいです。
今後とも聖陵学院アンイングリッシュクラブを何卒、よろしくお願いいたします。

今回は英会話の「できた」をどのようにして実感することができるのか私が普段、考えていることを記載させていただきます。

英会話における「できた」とは？

英会話においてお子様が「できた」と実感することができるのはいつなのでしょう？

私は英語で自分の言いたいことが相手(外国人)に伝わった時なのではないかと考えます。
英会話講師になって4年になりますが、私自身ようやく会話における英語に少し慣れてきたところで、ぺらぺらとしゃべりたいことが次々頭の中に浮かび、実際に話すことができるかという
とまだまだです。英語自体、苦手ではありませんが、いざ話す時には頭の中で文を組み立てて
からではないと話せません。

そんな私でも自分の話すつたない英語が相手に伝わった時はうれしく思えます。
小学校から公文で英語を学び、高校では大学受験のために約2000語の単語を新たに覚えました
が、外国人に自分の英語が伝わった時はそうしたこれまでの自分の学習における努力が成果と
して現れた瞬間だと思っています。

お子様にも普段のレッスンにおいて少しでも「話せた」「学んだ表現を用いることができた」
という実感をもっていただきたいと思っています。そのためには練習が欠かせませんので、
ご自宅におかれましても、しっかり頑張ってくださいたいです。
英会話は点数や数字として見えにくく、評価しづらいですが、お子様の日々、一步一步確実に
成長されていく姿に今後たくさん出会うことができればと思います。

最近、付箋でのご紹介ができておらず、申し訳ございません。
お子様のがんばっていらっしゃる姿をたくさんの方にご覧になっていただけるように通信につ
きましても継続させていただきたいと思います。

引き続き精一杯ご指導させていただきますので、今後とも何卒、よろしくお願い申し上げます。